

トンネル用POフィルムの効果確認試験

JAえんゆう

新国 純一



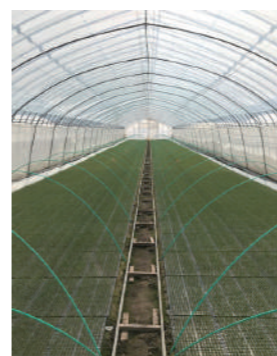
3.30撮影 慣行区



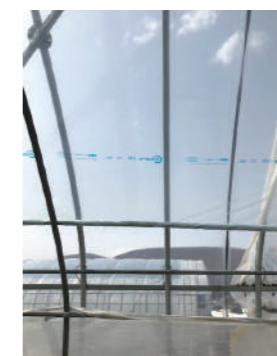
3.30撮影 慣行区全体



3.30撮影 試験区



3.30撮影 試験区全体



3.30撮影 試験品内張り

試験目的

玉ねぎ用トンネルPOフィルムの実用性確認

試験作物 及び品種

玉ねぎ

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートトンネル(0.05mm×420cm×100m)

慣行資材

オニオンホット(0.05mm×420cm×100m)

栽培方法

播種日

2月25日

定植日

5月2日

資材使用期間

2月下旬～4月上旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張の際に試験品の方が静電気が少なく展張しやすい。流滴性に関しては特に差は感じられなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

発芽や生育差についてほとんど差は見られなかったが、試験区の端苗の揃いが若干良い。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：展張時の静電気発生が試験品の方が少なく展張作業がしやすい。端苗の揃いが良く、苗の揃いにばらつきが少ない。

【問題点】：特になし。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特に差は見られないが、今後継続的に使用し、流滴性などどれくらい持つのか見ていきたい。

(5)保温効果について

生育差がほとんどなかったため、温度についても差はほとんどなかったと考えられる。

モニター感想

去年からトンネルPOを使用しており、その実用性は大きいと感じていた。今回の試験品は慣行品と遜色なく、作業性・生育ともに問題ない。2重ハウスの内張用としても使用しているが水滴が落ちることなく、有用的に使用できた。価格次第で今後クリンテートトンネルに切り替えていきたいと考えている。

JA担当者の感想(平塚考査役)

本試験品は慣行品と比べても特に劣る点はなく、同等か作業性に関してはそれ以上と感じる。価格次第で今後も推進していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。